

## はじめに

四日市市教育委員会では、平成15年（初版：平成14年度版）から、本市の学校教育の実情を広く情報発信し、市民の方々にご理解をいただくため、「四日市市学校教育白書」を発行しています。

平成17年度版（第4号）からは、本市の目ざす学校教育の基盤として策定した「四日市市学校教育ビジョン」の進捗状況の評価を、この白書のもう一つの役割として位置付け、ビジョンの重点目標に対する達成状況等について記載しています。

平成28年度からスタートした「第3次四日市市学校教育ビジョン」では、本市の学校教育が目指す子どもの姿を明らかにし、その方向性を示すとともに、「子どもにつけたい力」と「子どもを支える学校づくり」の2つの観点から具体的な施策を定めました。

令和3年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大に伴い、学校教育活動においても、オンラインによるリモート授業や感染対策を講じた学校行事等、学びを止めないための工夫を行いながら進めてきました。また、1人1台学習者用タブレット端末の配備も行われ、日常の授業においても、タブレット端末を活用した個別最適な学びや協働的な学びの実現に向かい、取組が進められています。

本書では、令和3年度の教育委員会における取り組みの総括を行うとともに、学校教育ビジョンの実現に向け、子どもの姿や各学校・園での取組の現状を紹介しています。そして、各施策の実施状況や達成状況等の現状及び課題について明らかにすることで、令和4年からスタートしている第4次四日市市学校教育ビジョンの取り組みに活かしていきます。

今後も、子どもたちが主体的・協働的に学ぶ意欲や態度を身に付け、学校での学びを人生の充実・幸せや将来の社会貢献につなげていくことのできる「輝くよっかいちの子ども」の育成を目指していきます。

令和4年9月

四日市市教育委員会